

平成21年9月16日  
平成21年度感染症危機管理研修会

# 食中毒対策について

## ～食中毒被害情報管理室の設置～

厚生労働省食品全部監視安全課  
食中毒被害情報管理室  
室長 熊谷 優子



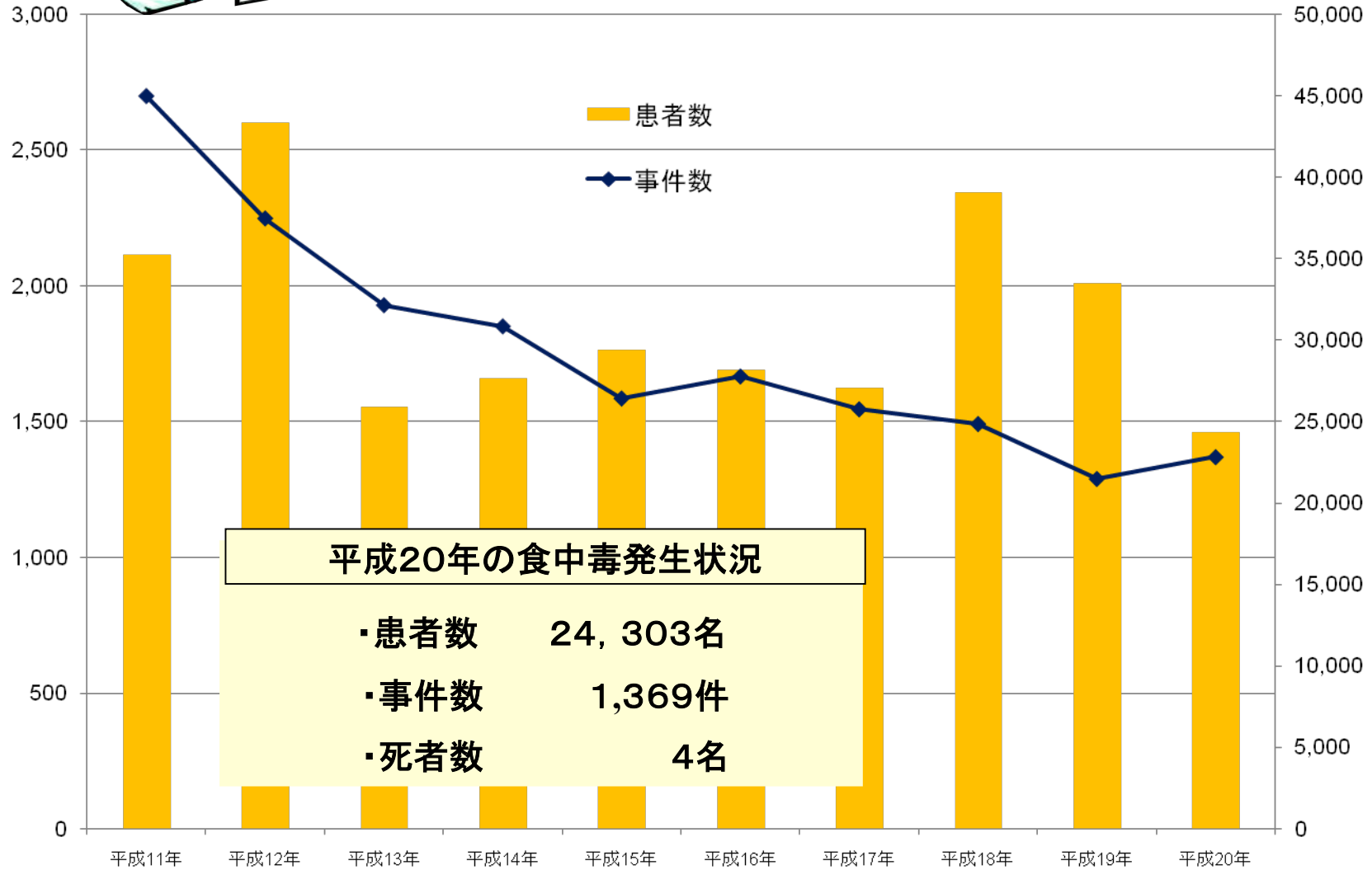
# 食中毒被害情報管理室設置の必要性

食品流通の多様化等に伴い、食中毒による重大な健康被害が広域・大規模に発生することを防止するための危機管理体制の整備が求められている。

2008年に広域発生した中国産冷凍餃子による薬物中毒事案では、最初の発生から約1カ月厚生労働省に情報が入らず、行政の対応が遅れたことへの改善として、夜間休日を含めた緊急時における情報伝達の徹底と情報の集約・一元化による健康被害の早期発見と被害拡大防止が強く求められました。



# 食中毒発生状況



# 患者数500名以上、50名以上の食中毒発生件数

	患者500名以上	患者50名以上
平成12年	3件	133件
平成13年	1件	107件
平成14年	6件	115件
平成15年	2件	132件
平成16年	0件	142件
平成17年	2件	120件
平成18年	6件	180件
平成19年	5件	157件
平成20年	1件	112件

# 広域・大規模食中毒の発生状況



# 主な大規模・広域食中毒事件

時 期	場 所	原因食品	原因物質	患者数	関係自治体
H 8. 7	堺 市(学 校)	貝割れ大根	EHEC	7, 966	1
H10. 3	大阪府(製造所)	三色ケーキ	S. Enteritidis	1, 371	4
H10. 5	北海道(製造所)	いくら醤油漬け	EHEC	49	11
H11. 3	青森県(製造所)	イカ乾製品	サルモネラ属菌	1, 634	114
H11. 8	北海道(製造所)	煮かに	腸炎ビブリオ	509	7
H12. 6	大阪市(製造所)	加工乳等	ブドウ球菌	13, 420	23
H13. 3	栃木県(製造所)	牛たたき等	EHEC	195	9
H13.12	山口県(製造所)	生かき	S. Sonnei	13	7
H14. 6	福島県(仕出屋)	弁当	S. Enteritidis	905	1
H15. 1	北海道(製造所)	きな粉パン	ノロウイルス	661	1
H15.11	長崎市(飲食店)	弁当?	ノロウイルス	790	10
H17. 5	大阪府(仕出屋)	給食弁当 <small>(小松菜とエビとコーンのあんかけ)</small>	ウェルシュ菌	673	4
H17. 6	滋賀県(仕出屋)	給食弁当 <small>(鮭の塩焼き)</small>	ブドウ球菌	862	3
H18.12	奈良県(仕出屋)	仕出し弁当?	ノロウイルス	1734	4
H19.9	宮城県(製造所)	イカの塩辛	腸炎ビブリオ	524	12

# 食中毒被害情報管理室の設置について

➤平成21年4月1日に設置

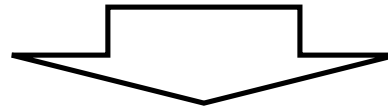
➤所掌事務

食中毒被害情報管理室は、飲食に起因する衛生上重大な危害が生じ、又は生じるおそれがある緊急の事態に関する情報の収集、管理及び分析並びにその結果の提供に関する事務をつかさどる。

# 食中毒被害情報管理室の取組みについて

食中毒による重大な健康被害が広域・大規模に発生することを防止するための危機管理体制の整備

➤ 重大な食中毒事案（重篤患者の発生、広域・大規模発生等）の早期探知と被害拡大防止



円滑な情報収集・共有体制の整備

効果的な情報分析体制の整備

迅速な情報提供体制の整備

- ① 国と都道府県等との連携強化
- ② 試験研究機関等との連携強化
- ③ 関係府省等との連携強化
- ④ 実践的な原因究明調査体制の充実

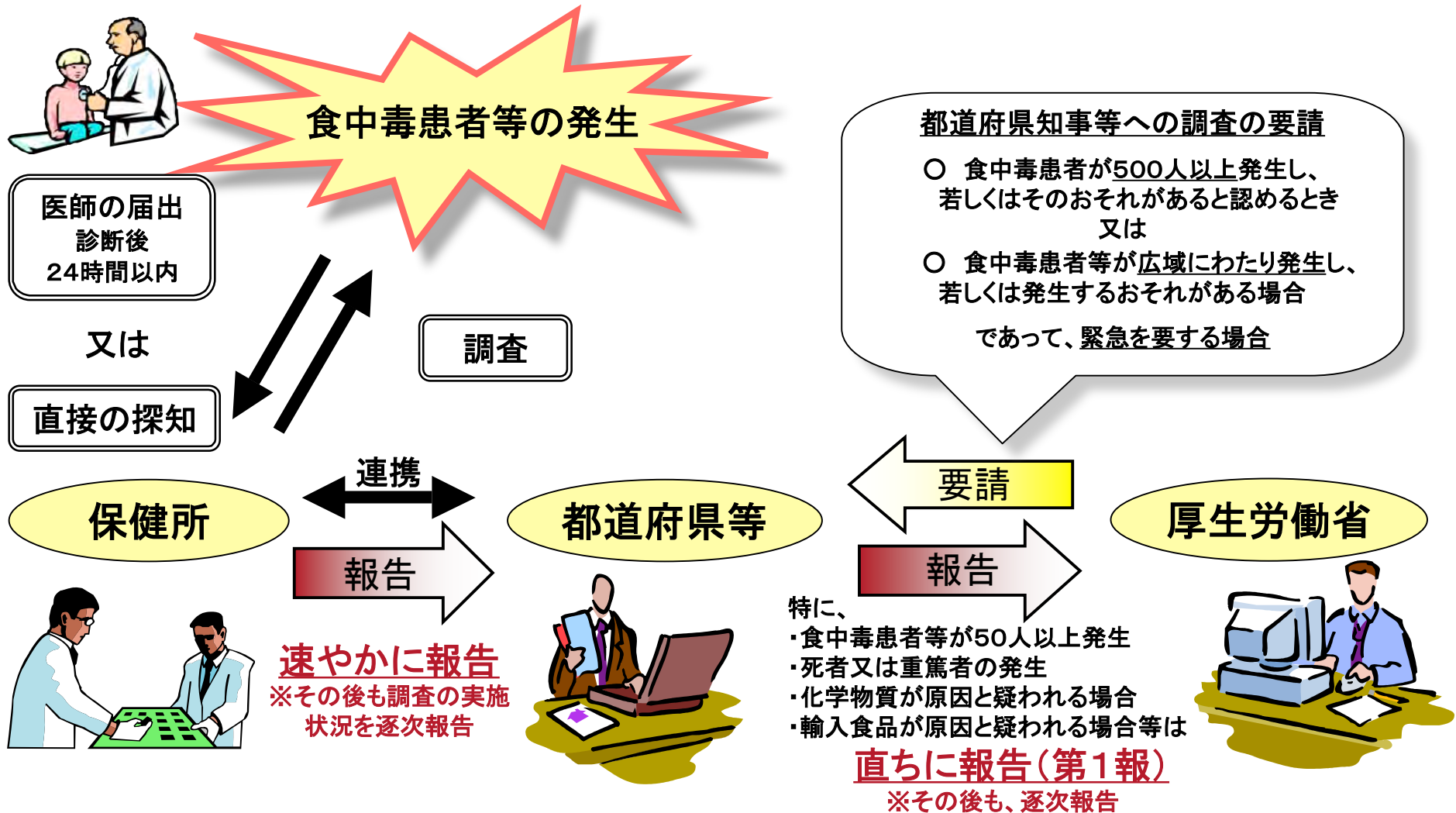


# 1. 円滑な情報収集・共有体制の整備

- ①国と都道府県等との連携強化
- ②試験研究機関等との連携強化
- ③関係府省等との連携強化
- ④実践的な原因究明調査体制の充実

# 食中毒発生時の対応

○近年の食品流通の多様化等による食中毒の大規模化・広域化を踏まえ、必要に応じ、厚生労働大臣が、都道府県知事等に対し調査の要請をすること等により、原因究明を迅速に行い、危害の拡大防止を図る。

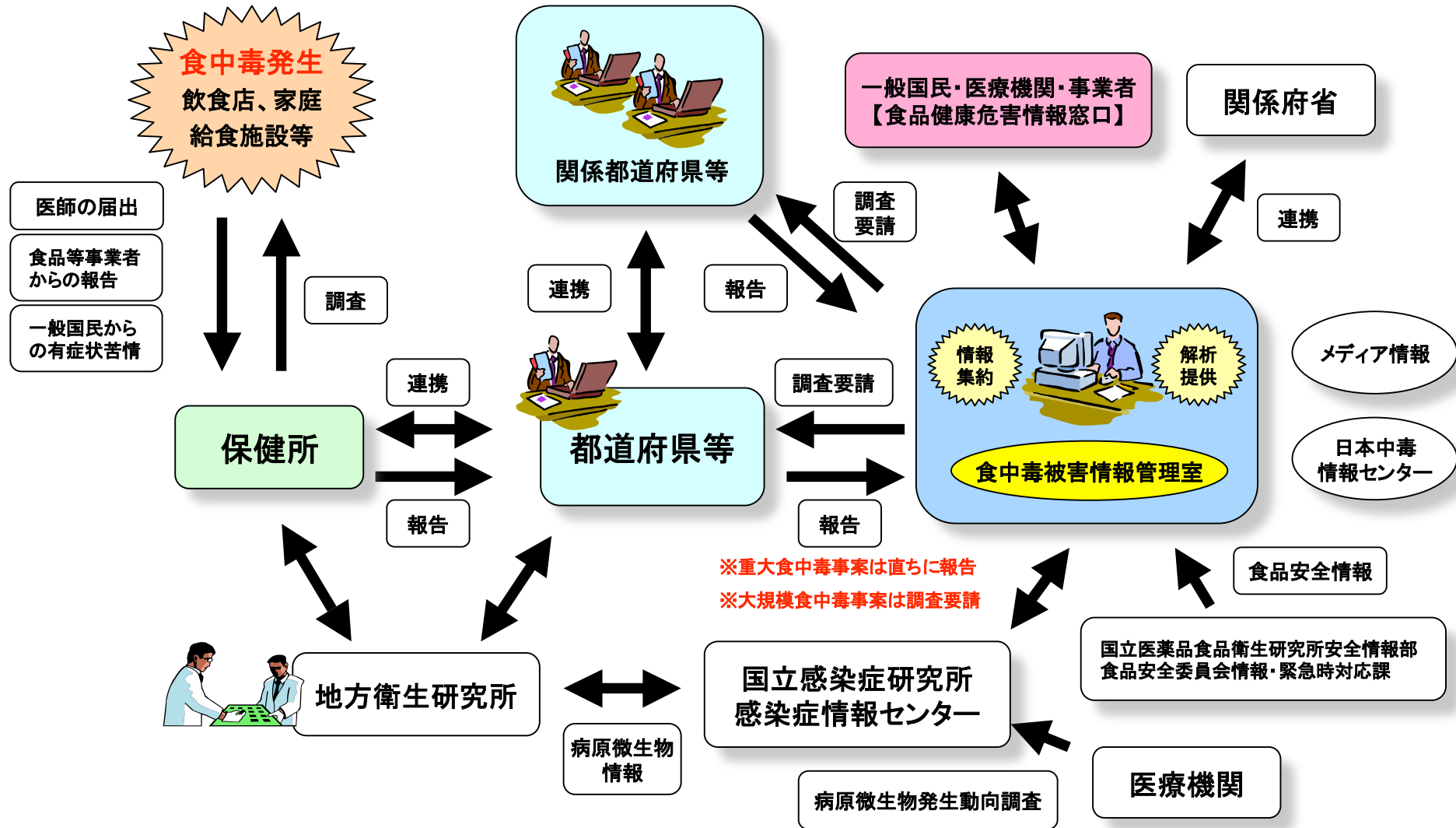


# 食中毒被害情報管理室と関連機関

食中毒被害情報管理室は、飲食に起因する衛生上重大な危害が生じ、又は生じるおそれがある緊急の事態に関する情報の収集、管理及び分析並びにその結果の提供に関する事務をつかさどる。

(厚生労働省組織規則より)

→ 食中毒の早期探知と健康被害の拡大防止を図る。



[戻る](#)

## 食品健康被害情報メール窓口

◎ 食事をして体調を崩して医療機関を受診された一般の方や、そのような情報をお持ちの医療機関、食品関連事業者などの皆様から、厚生労働省の担当者が直接メールを受け付けます。できるだけ具体的な情報をお寄せ下さい。

◎ お寄せ下さった情報は、必要に応じて関係する都道府県等へ調査依頼や情報提供するなど、食中毒対策に活用させていただきます。

◎ 以下の内容を含め、できるだけ具体的な情報をお寄せ下さい。

1. 具合が悪くなった日時
2. 症状
3. 食べた食品の名称又は商品名
4. 購入先や飲食店名、製造者名
5. 受診した医療機関名、受診日、診断内容

◎ 提出方法

以下の送信フォームにより受け付けています。



[こちらをクリックしてください。](#)

### 注意事項

- ・こちらでは、食品による健康被害に関する情報に限定してお受けしております。
- ・事実関係の調査を進めるため、症状、原因と思われる食品、受診した医療機関等の関連情報をできる限り具体的に明記してください。
- ・調査等を進めていくために提供いただいた情報の内容を確認させていただく場合がありますので、**氏名、住所、電話番号等の連絡先を必ず明記してください。**なお、ご記入いただいた個人情報 は他の用途には使用いたしません。
- ・ご連絡先が不明確な場合、対応できない場合があります。

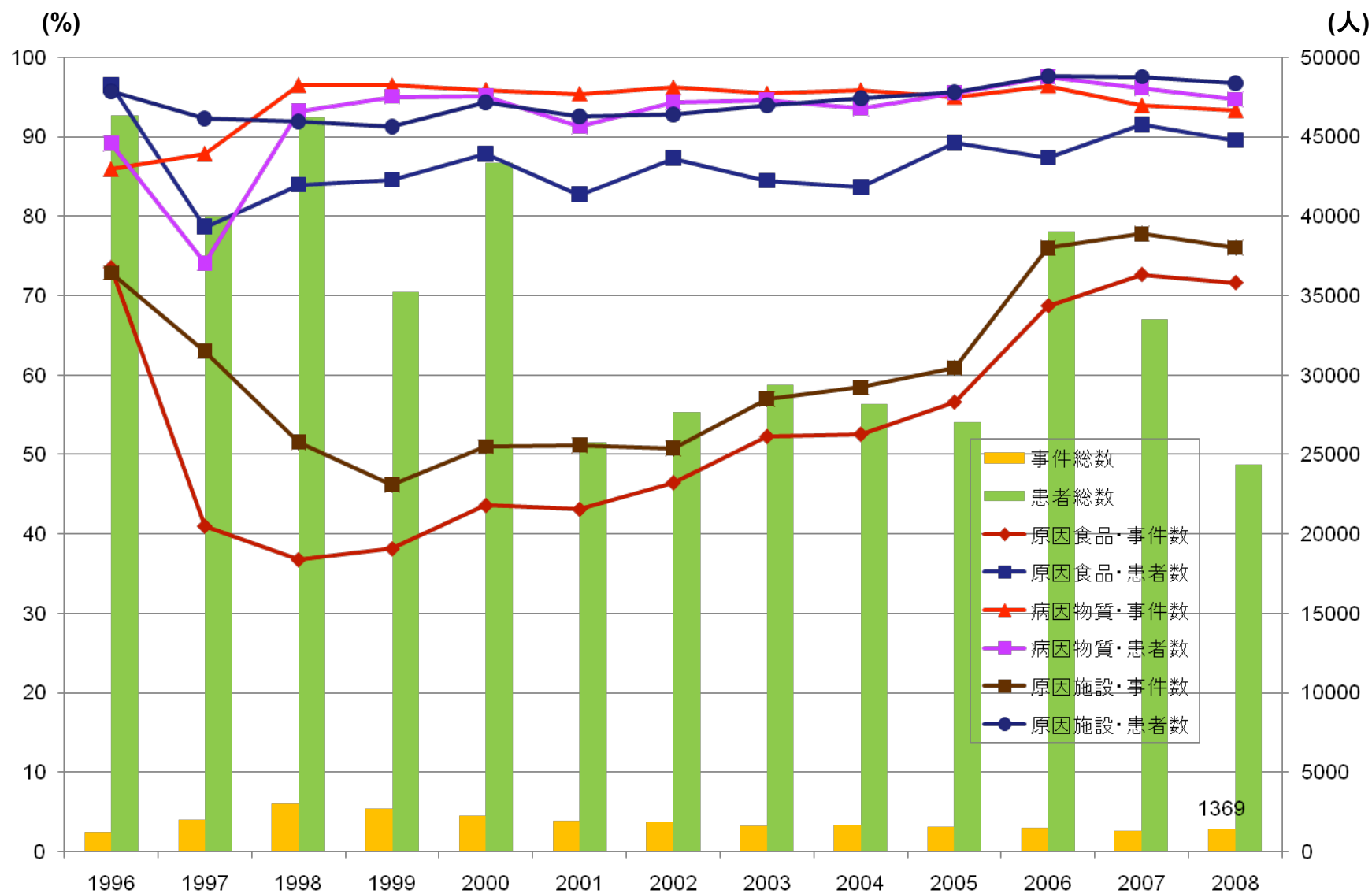
医薬食品局食品安全部監視安全課  
食中毒被害情報管理室  
電話 03-3595-3405

## 2. 効果的な情報分析体制の整備

- ①国と都道府県等との連携強化
- ②試験研究機関等との連携強化
- ③関係府省等との連携強化
- ④実践的な原因究明調査体制の充実

- 調査部門と検査部門との情報共有体制の強化
- 食品部局、感染症部局等の関連部局の情報共有体制の強化
- 食中毒に関する調査研究の推進
- 食中毒調査に関する人材育成支援

# 食中毒調査の現状



→ 最新情報

New

- 5月29日 [感染症発生動向調査週報\[IDWR\] 第20号\(平成21年5月11日～5月17日、4月報\)](#)

---

- 5月29日 [新型インフルエンザ\(ブタ由来インフルエンザA/H1N1\)  
 ・CDC: MMWR: 季節性インフルエンザワクチン接種後の  
 新型インフルエンザA\(H1N1\)ウイルスに対する血清  
 交差抗体の反応\(09/5/22\)](#)

---

- 5月28日 [新型インフルエンザ\(ブタ由来インフルエンザA/H1N1\)  
 ・IDSC: A病院職員新型インフルエンザ発生事例報告  
 \(09/5/28\)  
 ・IDSC: 新型インフルエンザの大阪における臨床像  
 \(09/5/21\)](#)

---

- 5月26日 [インフルエンザ流行レベルマップ\[疾患別情報\]  
 第20週\(5月11日～5月17日\)](#)

---

- 5月26日 [インフルエンザ様疾患発生報告\(学校欠席者数\)  
 \[IDWR\]  
 2008/09シーズン 第27報](#)

---

- 5月26日 [麻疹 \[疾患別情報\]  
 麻疹発生状況\(速報グラフ\) 2009年第20週](#)

---

- 5月26日 [腸管出血性大腸菌感染症\[疾患別情報\]  
 腸管出血性大腸菌感染症発生状況\(速報\) 第20週](#)

→ [更新履歴](#)

↳ 疾患別情報

Disease

感染症情報センターのHPでとりあげた疾患、および予防接種についてジャンル別と索引で示しています。

→ [詳細へ](#)

↳ サーベイランス

Surveillance

→ フォーカス

Focus

- [新型インフルエンザ  
 \(ブタ由来インフルエンザA/H1N1\)](#)
- [インフルエンザ](#)
- [鳥インフルエンザ](#)
- [麻疹](#)
- [腸管出血性大腸菌感染症](#)
- [百日咳](#)
- [風疹](#)
- [日本脳炎](#)
- [予防接種情報](#)
- [ノロウイルス感染症](#)

緊急情報

2012年麻疹排除(Elimination)にむけて



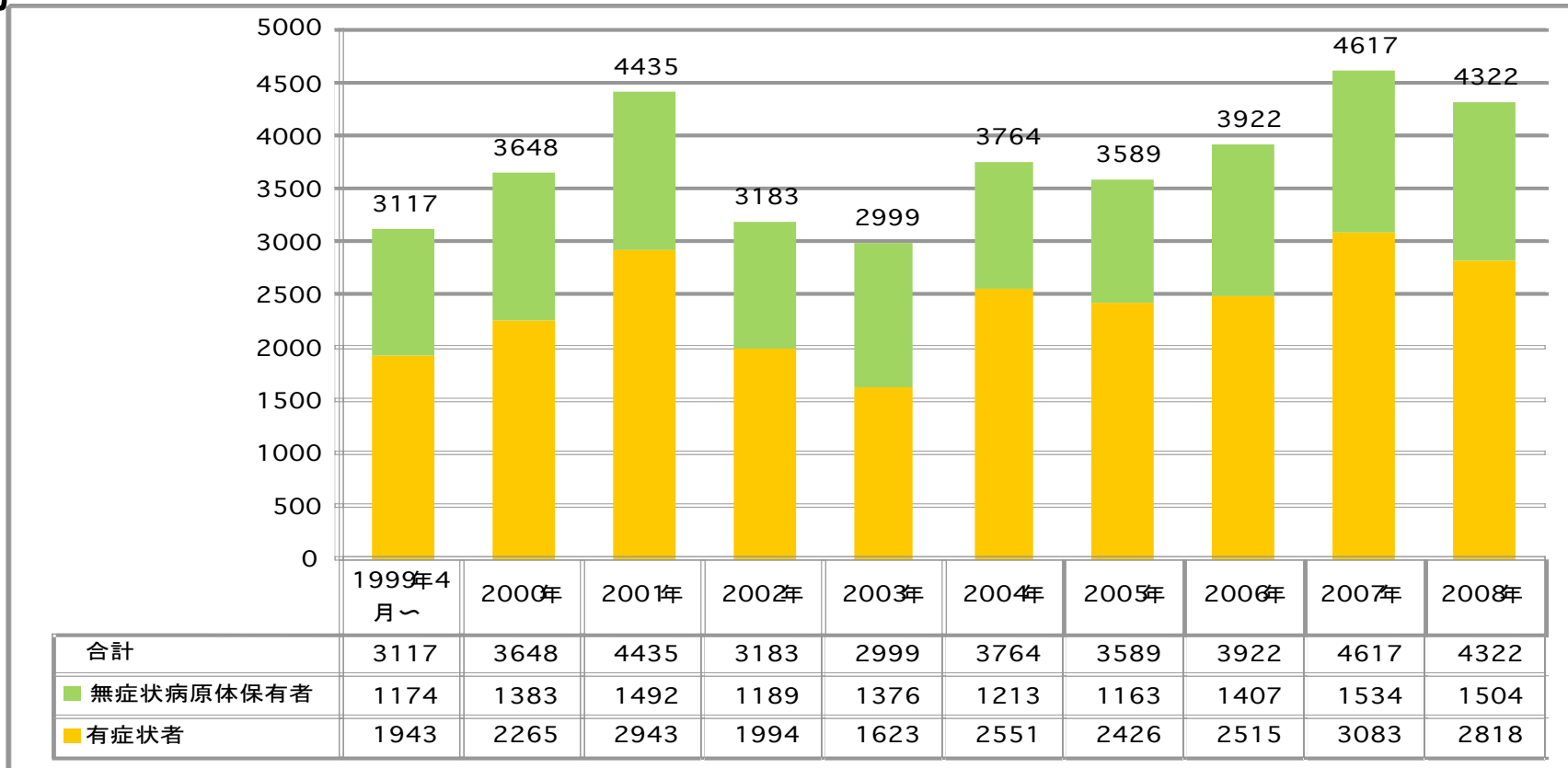
2008/09シーズン  
 調査スタート

インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査の御願い

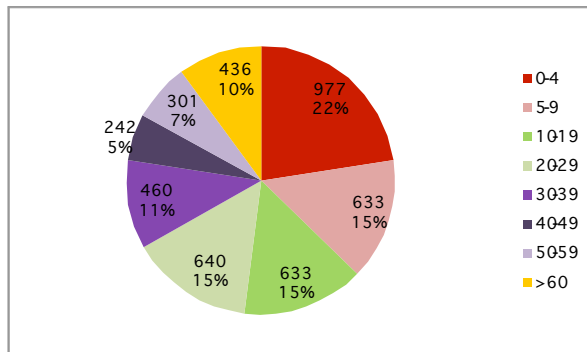
Hib (b型インフルエンザ菌) 2009年4月スタート  
 感染症 全数調査の御願い

# 腸管出血性大腸菌感染症の年別・症状別発生状況

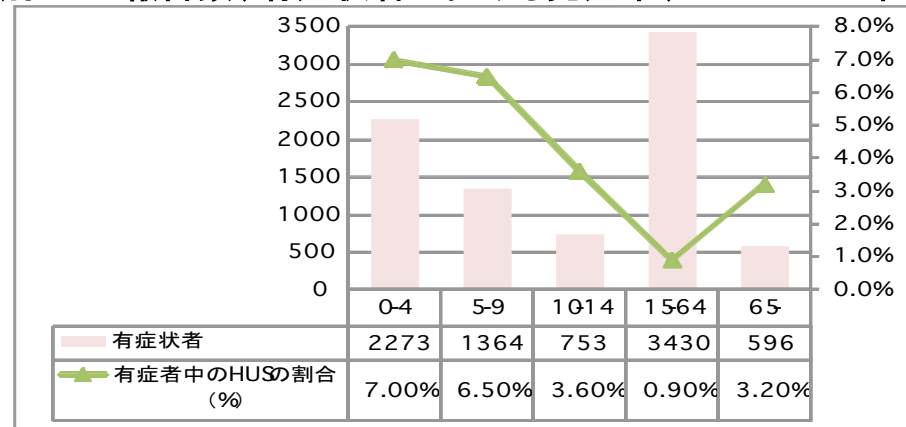
(平成21年8月4日付け事務連絡より)



年齢群別割合、2008年



年齢群別HUS報告数、有症状者における発症率、2006-2008年





# 病因物質別食中毒全国総事件数の年次推移

厚生労働省食中毒統計より

事件数		平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成20年
総数		1,585	1,666	1,545	1,491	1,289	1,369
病因物質判明		1,513	1,597	1,468	1,438	1,211	1,278
細菌	総数	1,110	1,152	1,065	774	732	778
	サルモネラ属菌	350	225	144	124	126	99
	ぶどう球菌	59	55	63	61	70	58
	ボツリヌス菌	-	-	-	1	1	-
	腸炎ビブリオ	108	205	113	71	42	17
	腸管出血性大腸菌（VT産生）	12	18	24	24	25	17
	その他の病原大腸菌	35	27	25	19	11	12
	ウエルシュ菌	34	28	27	35	27	34
	セレウス菌	12	25	16	18	8	21
	エルシニア・エンテロコリチカ	-	1	-	-	-	-
	カンピロバクター・ジェジュニ / コリ	491	558	645	416	416	509
	ナグビブリオ	2	-	-	-	1	1
	コレラ菌	-	-	-	-	-	3
	赤痢菌	1	1	-	1	-	3
	チフス菌	-	-	-	-	-	-
	パラチフス A 菌	-	-	-	-	-	-
その他の細菌	6	9	8	4	5	4	
ウイルス	総数	282	277	275	504	348	304
	小型球形ウイルス	278	277	274	499	344	303
	その他のウイルス	4	-	1	5	4	1
化学物質		8	12	14	15	10	27
自然毒	総数	112	151	106	138	113	152
	植物性自然毒	66	99	58	103	74	91
	動物性自然毒	46	52	48	35	39	61
その他		1	5	8	7	8	17
不明		72	69	77	53	78	91

# ● 病因物質別食中毒全国総患者数の年次推移

厚生労働省食中毒統計より

患者数		平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成20年
総数		29,355	28,175	27,019	39,026	33,477	24,303
病因物質判明		27,780	26,355	25,810	38,068	32,182	23,014
細菌	総数	16,551	13,078	16,678	9,666	12,964	10,331
	サルモネラ属菌	6,517	3,788	3,700	2,053	3,603	2,551
	ぶどう球菌	1,438	1,298	1,948	1,220	1,181	1,424
	ボツリヌス菌	-	-	-	1	1	-
	腸炎ビブリオ	1,342	2,773	2,301	1,236	1,278	168
	腸管出血性大腸菌（VT産生）	184	70	105	179	928	115
	その他の病原大腸菌	1,375	869	1,734	902	648	501
	ウエルシュ菌	2,824	1,283	2,643	1,545	2,772	2,088
	セレウス菌	118	397	324	200	124	230
	エルシニア・エンテロコリチカ	-	40	-	-	-	-
	カンピロバクター・ジェジュニ / コリ	2,642	2,485	3,439	2,297	2,396	3,071
	ナグビブリオ	2	-	-	-	1	5
	コレラ菌	-	-	-	-	-	37
	赤痢菌	10	14	-	10	-	131
	チフス菌	-	-	-	-	-	-
パラチフス A 菌	-	-	-	-	-	-	
その他の細菌	99	61	484	23	32	10	
ウイルス	総数	10,702	12,537	8,728	27,696	18,750	11,630
	小型球形ウイルス	10,603	12,537	8,727	27,616	18,520	11,618
	その他のウイルス	99	-	1	80	230	12
化学物質		218	299	111	172	93	619
自然毒	総数	308	433	285	511	355	387
	植物性自然毒	229	354	210	446	266	283
	動物性自然毒	79	79	75	65	89	104
その他		1	8	8	23	20	47
不明		1,575	1,820	1,209	958	1,295	1,289

# 瀬戸内等で報告されている 原因不明食中毒に関する主な調査事業

地域保健総合推進事業（倉敷市保健所）  
「従来の疫学的手法で解明できない事例のための  
新たな手法の検討」

食中毒危機管理対策事業（国衛研）  
「生食用魚介類を共通食とする原因不明食中  
毒病因物質調査」

# 食中毒調査支援システム(仮称)概要

食品保健総合情報処理システム

夏期年末報告業務システム

食中毒発生情報処理システム

食中毒調査支援システム

輸入食品等届出情報データベース

## 食中毒調査支援ポータルサイト（行政機関向け情報）

### ●食中毒関連情報提供機能

- ①食中毒発生速報等関連情報
  - ・都道府県等からの速報及び詳報
  - ・一般国民、関係府省からの食品危害情報重要事案
  - ・食中毒統計、食中毒事件録
- ②食中毒発生動向注意喚起情報
  - ・感染症発生動向(腸管出血性大腸菌等)
  - ・病原菌株情報(Pulse-net)の解析
  - ・都道府県等との定期的なWeb会議による食中毒動向情報
- ③食中毒関連メディア情報(国内、国外)
- ④リスクコミュニケーションツールの提供



### ●緊急時対応支援機能

- ①食中毒関連緊急情報の掲載
- ②緊急連絡網の掲載
- ③緊急時対応Web会議システム(厚生労働省と関係都道府県等との緊急時における情報の共有)



### ●研修機能

- 全国の食品衛生監視員を対象としたインターネットを介したe-learningの開催
- ①食中毒調査のための実地疫学ビデオ研修
  - ②電子媒体教材の提供



### ●コミュニケーション機能

インターネットを介したWeb会議システム、電子メール、掲示板等を活用することによる双方向の情報共有



国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所  
国立保健医療科学院、地方厚生局

都道府県等、保健所、地方衛生研究所

### **3. 迅速な情報提供体制の整備**

- ①国と都道府県等との連携強化**
- ②試験研究機関等との連携強化**
- ③関係府省等との連携強化**
- ④実践的な原因究明調査体制の充実**

# 食中毒被害情報管理室の今後の取り組み

- 食中毒被害情報の収集体制の強化
  - 都道府県等との情報共有体制の強化
  - 関係機関との連携強化
- 食中毒被害情報の分析体制の強化
  - 国立感染症研究所等との連携強化
- 食中毒被害情報関連の情報提供体制の強化
  - 都道府県等、消費者等への情報提供体制の強化

ご静聴ありがとうございました。